

外来新患診療体制表 平成24年5月現在

(宮城県立がんセンター)

診療科	曜日	月	火	水	木	金
消化器科	新患	●	●	●	●	●
専門外来	肝臓		肝臓	胆・膵	肝胆膵・下部消化管	上部消化管
内科	血液内科	●	●	●	●	●
	化学療法科	●	●	●	●	●
呼吸器科		●	●	●	●	●
外科	乳腺科	●	●	●	●	●
	外科		●	●		●
整形外科			●		●	●
脳神経外科		●		●		●
頭頸科(耳いんこう科)		●	●		●	
形成外科			●			●
婦人科		●	●		●	
泌尿器科		●		●	●	
放射線治療科		●	●	●		●
緩和医療科				●		●

*消化器科では、専門外来の診察日にも紹介患者さんの予約を受け付けております。お申し込みの際にご確認下さい。
 診療受付時間：午前8時30分～11時00分 TEL 022-384-3151(代) FAX 022-381-1169 (地域医療連携室)

宮城県立がんセンターセミナーのご案内

演題 **潰瘍性大腸炎の感受性遺伝子検索の現状と臨床への展開**

演者 相澤 宏樹 先生

宮城県立がんセンター 消化器科

日時 平成24年6月8日 17:30～19:00

*会場は宮城県立がんセンター大会議室となります。どうぞお気軽にご参加ください。

地域医療連携室より

日頃、皆様には地域医療連携室を通しお世話になっており感謝申し上げます。
 今年度、地域医療連携室は片倉室長、中沢副室長、大村看護師(退院調整担当)、兼平看護師、太田事務担当がメンバーとなっております。

患者さんへのサービス向上と、貴施設との連携業務がスムーズに行えますよう努力をしております。
 もしお気づきの点などありましたらご指摘いただきますと幸いです。今後とも、宮城県立がんセンターを宜しく願っています。



交通案内

J 東北本線名取駅下車、バスまたはタクシーを利用
 桜 名取駅西口から「県立がんセンター線」(なとりん号)を利用
 南 名取駅西口から「北目上原線」(なとりん号)を利用
 交 仙台南インターからは、国道286号バイパス経由
 通 県道仙台・岩沼線を利用(所要時間約15分)
 自 家用車

地域医療連携室のご案内

地域医療機関の先生方からご紹介を受けた患者さんの診療予約をお取りしてスムーズな受診ができるようにしております。

○受付 午前8時30分～午後5時15分
 ○TEL (022) 381-5152(直通)
 (022) 384-3151(代) 内線115
 ○FAX (022) 381-1169

宮城県立がんセンター

〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山47の1
 電話(代表) (022)384-3151 FAX(総務課) (022)381-1168
 □ゴマークの3本の柱は「治療、予防、研究」を、上の「まる」は患者さんを表わしています。3本の柱が、患者さんを支えるという意味です。

地域医療連携室だより

宮城県立がんセンター



新棟建設に向けて

総長 西條 茂



新緑の季節となり、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
 今年は例年になく寒く長い冬となり、桜の開花をこれほど心待ちにした年も珍しいと思います。暖かくなりあらゆる花が一気に咲き始め、やっとな春到来とい

ころです。

さて連携室便り第17号をお届けいたします。

がんセンターにとって昨年23年度は、当初震災・原発の影響で患者数の減少がみられましたがその後徐々に増加し、最終的には僅かですが前年度を上回るペースとなりました。これも皆様方のご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

がんセンターは4月から病院の医師数がレジデント7名と歯科医1名を含め74名となりました。歯科医は昨年9月から赴任し、周術期、化学療法中の患者さんを中心として徹底的に口腔ケアを施行し、当院におけるがん医療の質の向上に努めております。

研究所では現在5人の医師を中心に各々の研究テーマで頑張っており、大学院生11名(医師4名)を抱えていて、時には菅村理事長の気合いが入り、緊張のなかにも活発に研究を行っております。

さて新棟建設についてですが、がんセンターでは現有の放射線治療機器が2台で多忙であること、PET-CTがないこと、外来化学療法室が手狭で将来的に需要を満たせないこと、医局も手狭になったことなどから、3階建て新棟を病院北側に隣接して建設することになりました。設計図もほぼ完成し予定では来年夏から秋にかけて竣工予定です。

1階には、「トモセラピー」とPET-CT、2階に医局、3階に外来化学療法室を設置します。

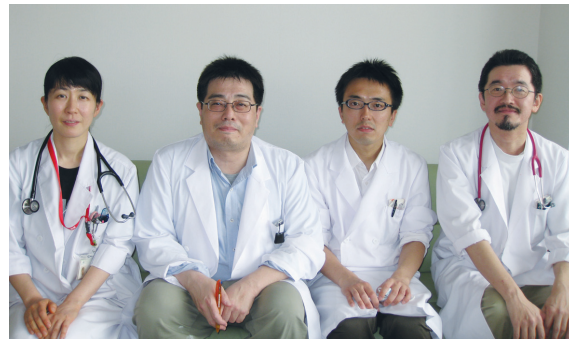
高精度放射線治療機器である「トモセラピー」は皆様には聞きなれない名称かと思えます。「トモセラピー」は簡単に言うと、CTと一体となった強度変調放射線治療(IMRT)の専用機器であり、迅速で極めて精度の高い放射線治療が可能です。2011年で日本には18施設に導入されています。

がんの形態に近い照射野の設定が可能で副作用を極力軽減でき、ピンポイント照射(定位放射線治療)、体幹部の比較的大きながん病巣、複数のがんを一度に照射可能など、いろいろな特徴のある高精度放射線治療機器です。

今回の連携室便りからもっと詳細な情報をお届けいたします。

今年度も質の良いがん医療を目指しますので、皆様のご指導・ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

血液内科



原崎 頼子 佐々木 治 井根 省二 遠宮 靖雄

血液内科のご案内（概要）

血液内科科長 佐々木 治

佐々木、原崎、遠宮、井根の医師4人体制で診療しています。病床は35床で無菌室5床、準無菌室8床です。23年度の新患入院数は約200名でした。悪性リンパ腫が40%程度で最多ですが、その他では急性白血病・骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫などの疾患がかなりの割合を占めます。

病状に応じて造血幹細胞移植が必要になることもあります。当科は臍帯血バンクと骨髄バンクともに認定を受けている施設です。両バンクの認定を受けているのは宮城県内では3施設のみです。同種移植、自家移植、臍帯血移植、抹消血幹細胞移植なんでも対応可能です。

新患の受付は月曜日から金曜日までの午前中としておりますが、御急ぎの場合は電話等で連絡いただければ対応可能です。

情報交換会はいかがでしょう？

血液を専門としない先生方から「血液疾患の診療は難しい」と言われます。でも本当に血液疾患の診療は難しいのでしょうか？

患者様の異常を調べる血液検査には、必ず血算が含まれます。また検診や定期的検査にも血算が含まれます。その他にも、リンパ節が腫れていたら「悪性リンパ腫」を疑い、腰痛が続けば「多発性骨髄腫」を疑わなければならない。総合診療に携わる先生方は、常に血液疾患を意識して診療をしていると思います。当院に紹介となる患者様にも適切に初期対応がなされています。本当に多くの先生方が「血液疾患の診療は難しい」と感じているのでしょうか？

「難しい」の意味は、どうやら「もう少しだけわかれば、対応できるのに！」という事のようなようです。もう少し長く言えば「血液専門の医療機関とスムーズにコミュニケーションを取れば大丈夫」なのだが、「忙しい診療中に知らない病院の知らない連中（例えば私のような）とコミュニケーションを取り合うのは難しい」という事だと思います。これは開業医院の先生方と直接お話しをされていてわかったことです。

この「もう少しのコミュニケーション」を何とかしたいと考えております。直接顔を合わせる機会が必要と考え、平成22年から年1回のペースで「県南血液疾患情報交換の会」という勉強会を始めました。講演と質疑応答を中心とした会です。平成22年は「血液疾患の診療の実際」、平成24年は「高齢者の悪性リンパ腫」というテーマで開催しました。まだ2回目なのですが、とても有意義な情報交換の場となっています。しかし、この勉強会も大きな問題点が1つあります。仙台市で開催するので、どうしても県南部の方々は来るのが難しいことです。

仙台市以外の医療機関と交流を深める必要性を感じています。他施設の現状も知りたいし、我々の現状を伝えたい気持ちもあります。そこでお願いです。もし講演会、勉強会を企画されているならば、我々に一声かけていただけませんか？場所は宮城県内であれば、どちらにでも伺います。内容についてもリクエストに対応します。私までお電話いただければ（すぐにつながります。）幸いです。

連絡先 022-384-3151(代) 血液内科 佐々木 治宛

新任医師紹介

消化器科

相澤 宏樹



本年4月よりお世話になっております消化器科の相澤です。当地でも被害のありました震災の爪痕が色濃く残る気仙沼市立病院から赴任して参りました。

東北大学病院消化器科下部消化管グループ出身で、野村先生の後任という立場での着任となりました。至らない点は多々あるかと存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

消化器科

及川 智之

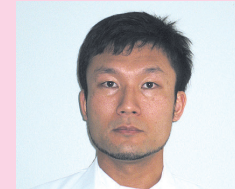


本年4月より消化器科に勤務しております及川智之です。東北大学病院消化器内科 上部消化管グループに所属しております。前任地は八戸市立市民病院でした。

上部消化管疾患を中心に、質の高い医療を提供できるよう努力していきたくと思います。まだまだ未熟ですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

消化器科

塚本 啓祐

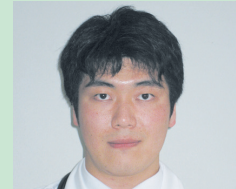


4月から消化器科で勤務しております塚本です。宮城県出身で平成16年自治医科大学卒業です。

仙台医療センターで2年の研修を終え、佐沼病院2年、涌谷町国保病院4年の勤務を経てこちらに参りました。一日も早く専門病院の医師として医療を提供できるようになるべく、努力いたします。よろしくお願いいたします。

呼吸器外科

月舘 久勝



4月より仙台赤十字病院外科から赴任して参りました、月舘と申します。仙台一高・東北大学と根っからの仙台人です。

今回、自分の専門分野を呼吸器外科に決めまして、縁あってこちらで勉強させて頂くことになりました。経験の浅さは行動力でカバーしてお役に立ちたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

放射線治療科

古積麻衣子



本年4月より東北大学病院放射線治療科から赴任してまいりました。出身は宮城県岩沼市です。

地域の皆さまのために、地域に根ざしたがん治療に力を注いでいきたいと思っております。手術・化学療法を含めた一連の治療が円滑に進むよう、放射線治療医としてできる限り努力してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

乳腺科

濱中 洋平



3月より乳腺科でお世話になっております濱中洋平です。深町佳世子先生の休暇中の代替として東北大学病院 乳腺・内分泌外科より赴任してまいりました。

地域の先生方と連携しながら質の高い医療を提供できるように努力してまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

退任医師（平成24年3月31日）

消化器科

野村 栄樹

放射線治療科

高橋ちあき